

「空港運営のあり方検討会」資料



宮崎空港ビル株式会社

宮崎空港の概要

宮崎空港は、昭和18年12月に旧海軍飛行基地として建設され、昭和29年10月に航空大学校の訓練飛行場として開港しました。宮崎空港は、宮崎市の市街地から南へ約7km、車で15分の位置にあり、平成8年7月、地方空港では全国初のJRによる空港連絡鉄道が開業するなど、交通の利便性が高く、県民に親しまれ、利用しやすい空港となっています。平成16年10月には開港50周年を迎え、現在、国内5都市(5路線)、海外2都市(ソウル、台北)と結ばれた空港となっています。

所在地: 宮崎市赤江

空港の面積: 1,766,119平方メートル

空港の種別: 第二種空港

滑走路: 2,500メートル×45メートル

エプロン: 16 バース(大型ジェット用5、中型ジェット用1、小型ジェット用2、プロペラ機用2、小型機用6)

路線名	平成21年度利用者数 (人)	前年度利用者数 (人)	対前年度比 (%)
東京	1,395,604	1,475,764	94.6
大阪(伊丹)	609,475	676,703	90.1
名古屋	181,479	200,015	90.7
福岡	378,562	429,615	88.1
広島西	12,265	13,679	89.7
長崎	4,582	8,986	51.0
沖縄	70,078	71,726	97.7
国内線計	2,652,045	2,876,488	92.2
ソウル	34,690	28,769	120.6
台北	13,353	13,694	97.5
国際線合計	48,043	42,463	113.1
合計	2,700,088	2,918,951	92.5

* 広島西は平成22年10月に廃止。長崎線は平成21年10月に廃止。



空港運営のあり方に関する基本的な考え方について

はじめに

- 当社は、「リゾート宮崎」「スポーツランド宮崎」の玄関口として地域社会の活性化・文化・情報の発信と交流のために、皆様に親しまれる空港づくりをおこなってまいりました。
- これまでの空港は、機能性を重視した、移動の為の施設だったのに対し、宮崎空港ビルは、“明るさ”“楽しさ”“ゆとり”を基本コンセプトに、空港利用の皆様に快適に過ごしていただけるよう、館内外の花や植栽の充実、各種イベントの開催、展示コーナーの設置、スポーツ等の歓迎セレモニー等を開催し、地域と一緒に、宮崎に貢献していきたいと考えます。

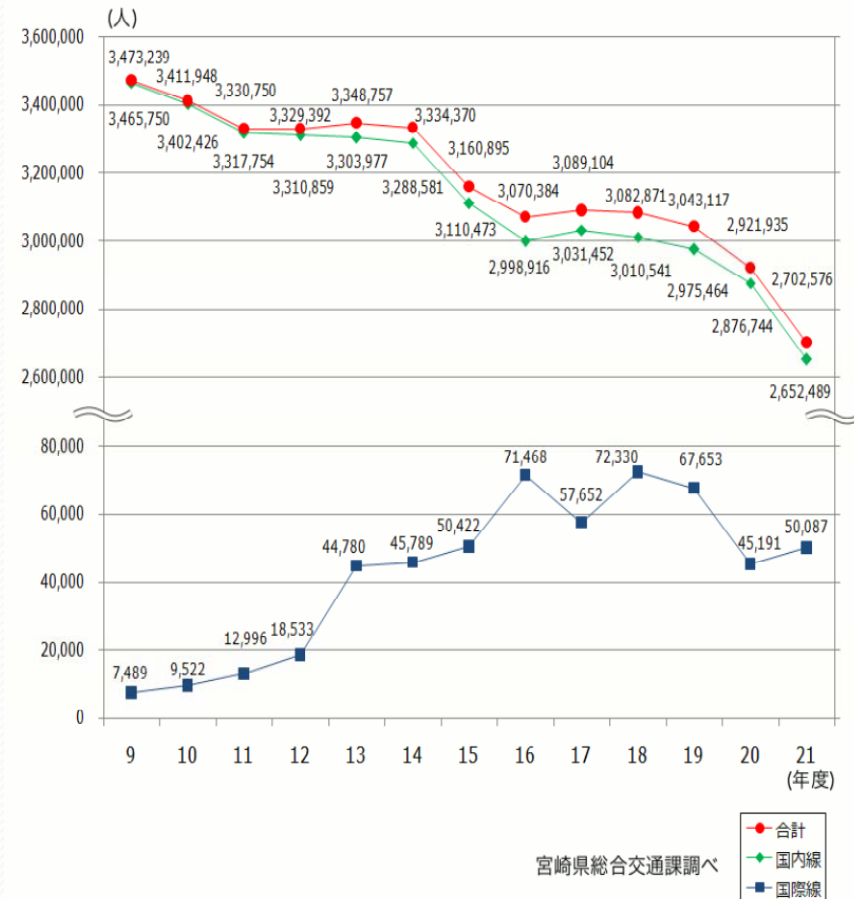
宮崎空港ビル(株) 概要と沿革

会社名 宮崎空港ビル株式会社
所在地 〒880-0912 宮崎市赤江(宮崎空港内)
電話番号 0985-51-5111
設立 昭和37年11月5日
資本金 2億円
取締役社長 長濱 保廣
従業員 111名
関連会社 宮崎空港商事株式会社(昭和56年4月設立)
株式会社 味のガンジス(昭和60年4月設立)

(1) 国が滑走路を所有する国管理空港との経営一体化についてどのように考えるか。また、経営一体化を進める上での課題は何か。

宮崎空港ビルにおいては、搭乗客数がピーク時である平成9年度の365万人から、平成21年度には、265万人、23%のダウンと大幅に減少という状況となっている。先日、航空局の空港別経営一体化の試算によると、黒字の予想もあったが、今後も乗降客が減少傾向にある中では、試算そのものが実現には厳しいと考えている。現在ターミナル経営は利益を地域や利用者へ、還元するよう努力しているが、経営一体化により、経営の効率化が過度に進めば、それが困難になると思われる。

経営一体化の実現には、慎重な収支計画が求められ、その為には、空港整備事業について、国のバックアップが不可欠である。



(2) 空港ビル等の空港関連企業と滑走路等を保有する国が、別組織で空港を運営するメリットとデメリットは何か。

▶ **メリット:**

滑走路等の管理においては、国の政策・責任において国際基準の空港施設を整備が出来る。また、ターミナル運営に関しては、民間企業として旅客・利用客へのサービスに専念し地域とのコミュニケーションによる情報の共有や発信が可能となる。

▶ **デメリット:**

収益事業へ特化しすぎる傾向になる恐れがある。

(3) 諸外国の空港ビルと滑走路の一体経営が行われている空港では、着陸料を下げて、PSFCを上げることが行われている例があるが、どのように考えるか。また、日本においてもPSFCの設定を一般化することも考えられるかどうか。

✓ 諸外国や一体化の空港による、着陸料とPSFCの料金設定については、一つの方法として十分に理解できる。但し利用者にとって分かりづらい料金体系の移行は懸念される。

✓ 日本における、本格的なPSFCの導入については、将来において一般化されていくであろうと考える。

(4) 地方にある空港として、空港の利用促進や需要増加に向けて積極的に取り組んでいることはあるか。また、その際の課題や苦勞している点は何か。

① イベント開催

- A) 地域の方々の参加する展示会・音楽会等を年間100回以上開催。
- B) ブーゲンビリアのプレゼント(2000人)や、キャンプガイドマップ(20万部)など、地域の方、観光客へのサービスを実施。
- C) 子供向けの空港案内を無料で実施(年間40回程度)。
- D) 中山間地域の特産品を紹介するための物産展を開催。

② 広報PR活動

- A) 宮崎空港振興協議会の設立(平成13年4月2日)。
- B) 宮崎空港総合時刻表の作成。
- C) 宮崎空港国際定期便乗り継ぎガイドの作成。
- D) 企業や団体への旅行案内、または旅行の斡旋等の利用促進。
- E) 九州・沖縄スカイトリップ・プロジェクトへの参加。

③ 空港利用促進

- A) TV・ラジオのコマーシャルにて、イベントや空港案内を実施。
- B) 搭乗検査場の快適さ向上の為にリニューアル。
- C) 屋上送迎デッキの公園化。
- D) 空港イルミネーションを設置し、食事やショッピングの集客効果を高める。
- E) 空港内外の美化活動
- F) バスなど交通機関への広告や、地域イベントへの協賛PR活動。

問題点

- ① イベントや広報活動などの費用の捻出。
- ② 駐車場の料金
- ③ 空港運用時間とイベント開催等の兼ね合い

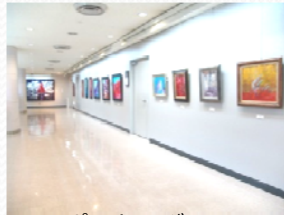
多彩な空港イベントについて

イベント開催回数 106回
 「オアシス広場」51回
 「エアポート・ギャラリー」13回
 「歓迎セレモニー」31回
 その他 11回

利用状況
稼働率
 オアシス広場 75%
 ギャラリー 96,4%

オアシス広場 コンセプト

宮崎空港のイベントは、地域の文化や物産を紹介していくことで、地域の皆様とご一緒につくりあげていくものです。そして、宮崎空港から情報を発信していきたいと考えています。



エアポート・ギャラリー



からくり時計【夢かぐら】



プロ野球キャンプ歓迎セレモニー



空の日イベント



フラ世界大会セレモニー



ブーゲンビリア・プレゼント



エアポート・ナイトライブ



翼太鼓「凜和」



国際現代彫刻展



ギターショー



クリスマス・アート



囲碁大会



物産展



工芸展



お正月



さつき展

オアシス広場 コンセプト

- ◆宮崎県民・地域の皆さんとのコミュニケーション
- ◆宮崎を訪れたお客様への、おもてなし

明るさ

楽しさ

ゆとり

宮崎空港のイベントは、地域の文化や人、物産を紹介することで、地域の皆様と一緒に
くっっていくものです。そして、宮崎空港から情報を発信していきたいと考えています。

オアシス広場について

■宮崎空港ビル1階の中央に位置する「オアシス広場」では、年間290日を越えるイベントを開催しています。その多彩なイベントの種類は、プロ野球チームをはじめとする各種スポーツ・団体などの歓迎セレモニー。全国初となった「エアポート・ナイトライブ」等の音楽イベント、そして「クリスマス」や「空の日」にちなんだ、子供たち参加の発表会。その他、ゴルフイベント、神楽イベントのような、宮崎の季節行事。また、地元の物産を紹介したり、生け花・盆栽・彫刻など、地域の方々の発表の場として活用されています。その目的は宮崎に飛行機で訪れたお客様に、南国リゾートのイメージや神話の里、スポーツランドといった「宮崎らしさ」を感じていただき、また宮崎を旅立つお客様へは、最後の宮崎の思い出を持ち帰っていただければと願っています。

■オアシス広場は、これからも「ほっとする癒しの空間」「ワクワクする楽しみの空間」「人や作品などの出会いの空間」として、お客様の笑顔のためにありたいと思います。



大規模なコンサートから、地域の発表会などを開催。県民には、県内有数の音楽会場と認識されている。



エアポートナイトライブ「一青窈」



子供たちの参加するイベントを開催します。子供向けの空港案内を無料で実施(年間40回)



親子囲碁大会



ブーゲンビリア・プレゼント

- 1998年スタート！2011年で13回目
- これまでに2万2千人が参加
- 実績として3500本をプレゼント



キャンプ・ガイドマップ

- 1993年に手作りでスタート
- 今年(2011年)で19回目となる
- 延べ350万部を超える発行の実績



ブーゲンビリア100本植樹

- 宮崎の名所「堀切峠」「鬼の洗濯板」「日向灘」を望む場所に、ブーゲンビリアの森が出来ることを願って社員による植樹を行いました。



(5) 経営の見通しについて。

- 現在の経営状況と今後の見通し
- テナントの直営比率と営業利益率の関係性

✓航空会社の要望(需要見込み)で、平成2年に350万人対応のビルを新築し、平成11年には500万人対応のビルへ増築した。その後、航空会社の経営効率化により、運休・路線廃止が相次ぎ、平成21年度には265万人、路線も最大12路線から、現在の5路線まで減少している。近況としては、J・J統合の際や、航空会社の経費削減のため返却されたスペースの有効活用や、売り上げ減少により退店されたテナントの補充などに苦慮している現状である。今後は、更なる航空会社の経営効率化が進むと、減便や機材の小型化による利用者の利便性低下や、九州新幹線の影響に加え、羽田の国際化による地方の国際線への影響なども危惧している。

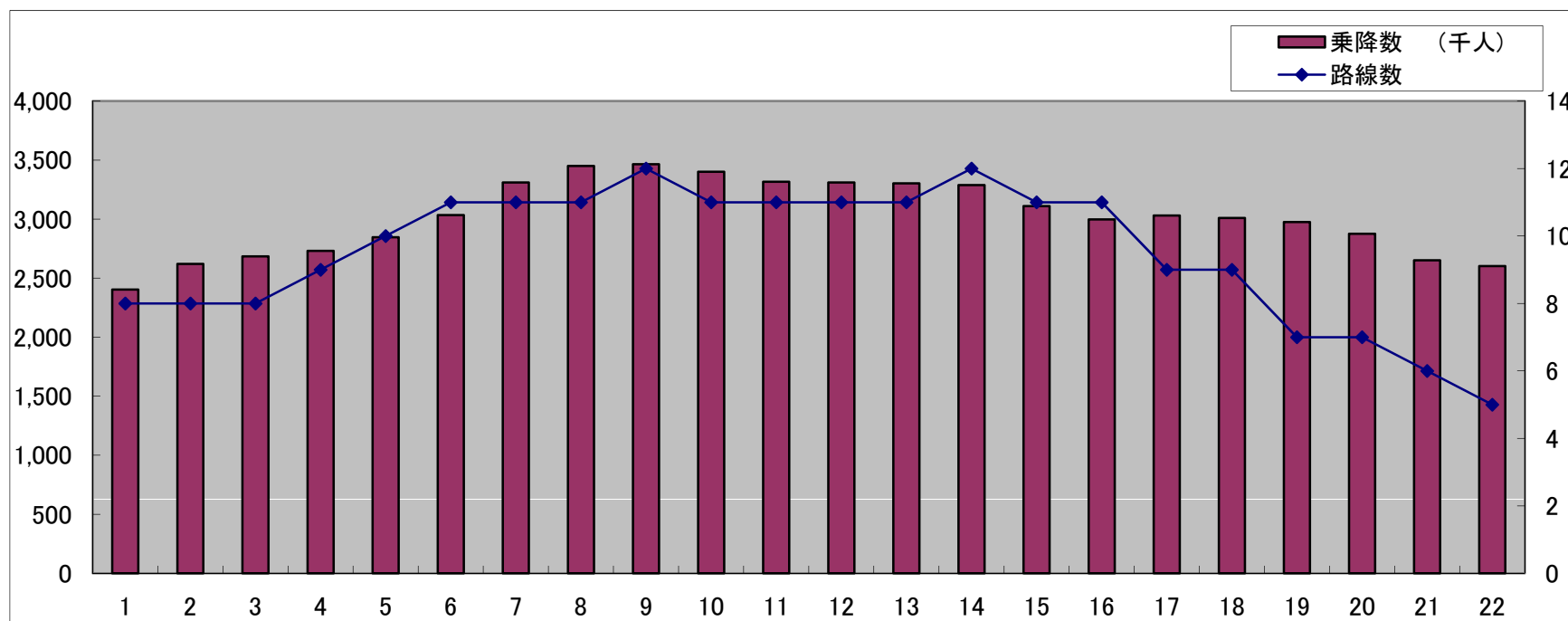
✓平成21年度、物販テナントの総売上に対するシェアは、4%。飲食テナントの総売上に対するシェアは、35%であった。しかし、飲食テナントは現在3店舗から1店舗に減少した為、平成22年度では、11%を見込んでいる。

■宮崎空港 乗降客と着陸便数の推移(イメージ)

(3月待つ時点での路線数を表示)

年度	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
乗降数 (千人)	2,403	2,621	2,685	2,731	2,846	3,035	3,311	3,450	3,465	3,402	3,317	3,310	3,303	3,288	3,110	2,998	3,031	3,010	2,975	2,876	2,652	2,602
路線数	8	8	8	9	10	11	11	11	12	11	11	11	11	12	11	11	9	9	7	7	6	5
着陸便数 (便)	17,663	17,334	16,970	17,668	19,133	19,774	20,979	21,151	21,633	21,307	20,997	20,469	21,050	20,553	18,282	18,238	18,191	18,629	18,910	18,868	18,702	18,702

※22年度は見込み



宮崎空港保安検査場 リニューアル

主旨：近年には、セキュリティ強化となり、何かとストレスを感じる検査場を、少しでも快適に過ごして戴きたいと思い、リニューアルを計画しました。宮崎は、杉の生産日本一でもあり、木材を使用したいの思いと、木の持つぬくもりや香り、癒しなどその効果を期待してのことです。

<ポイント>

- ✓主体 宮崎空港ビル株式会社
- ✓宮崎県産の飢肥杉を20本使用。
- ✓中でも4本程度は百年杉。
- ✓杉の産地は、西都市三納。(所有者 浦元孝義 氏)
- ✓県木「フェニックス」県花「はまゆう」などのステンドグラスを制作。
- ✓テーブルその他の備品等も木質化を実施。
- ✓BGMや鳥の声を演出。
- ✓構想2年
- ✓工期3週間
- ✓リニューアルに合わせ、宮崎総合警備の制服を変更。

着工前



検査場の外観



検査場内

完成後



検査スタッフの制服も変更



送迎デッキ公園化

送迎のお客様だけでなく、地元の方々にも気軽にご利用戴けるような、憩いと癒しの空間を提供したいと考え、宮崎県産材を55%使用した合成樹脂を使用した全面ウッドデッキ化や、季節の花々を植栽するなど環境に優しい緑化を行いました。また、併せて投げ込み防止の為、フェンスの高さを1.2m→2.5mにし、見通しや景観を損ねない様ワイヤー方式としました。

【これまでの送迎デッキ】



ウッドデッキに変更後、子供が元気に走り回り、シートを広げ飛行機を眺める風景も見受けられるようになりました。

【新しい送迎デッキ】



貨物ヤードの将来

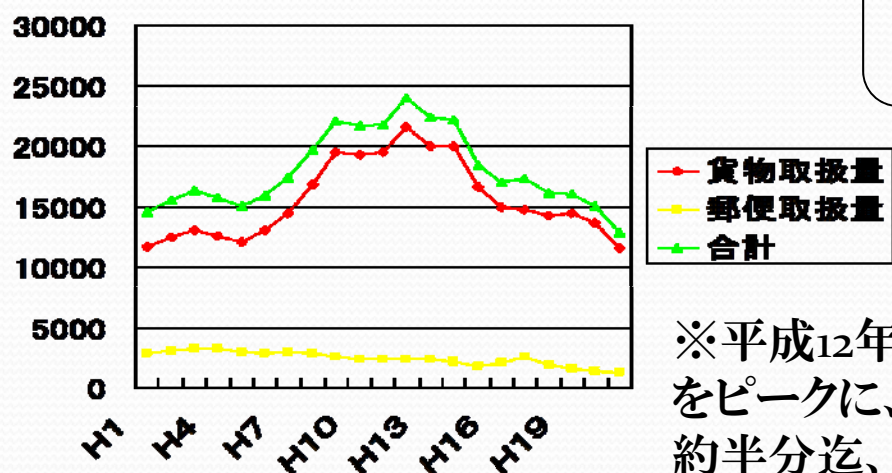
宮崎空港ビル株式会社

■現状と課題

- * 機材小型化・路線廃止などによる貨物取扱量の激減
 - * ハイジャック・テロ対策に伴う警備費用の増加
 - * 貨物ヤードからの退店が年々増加傾向(退店状況)
 - * 貨物代理店最大手の退店(日通・ヤマト)
 - * 退店はやむを得ない
 - * 退店後も使用される共用施設の費用負担
(取扱量の多い最大手の費用負担が無い)
 - * 貨物ヤードのあり方
 - * 現入居者との契約書内容の見直し
 - * 要望事項について
- 経営・財務委員会にて、貨物ターミナルビル運営事業者に対し現状のアンケートを実施(H22.3) ※結果報告は別紙

- * 機材小型化・路線廃止などによる貨物取扱量の激減
- * ハイジャック・テロ対策に伴う警備費用の増加

【宮崎空港 貨物取扱量の推移】



地方空港を取り巻く環境は、大変厳しいものとなってきている

※平成12年、貨物・郵便取扱量23,996トン
をピークに、平成21年には、12,836トンと
約半分迄、減少。

【警備費用の増加について】

平成18年10月 飛行場保安規程ガイドラインの改正

<改正内容(一部)>

- ゲートに扉、遮断機、車止めによる車両突入防止の設置 → 施設変更
- 立哨警備による出入り管理 → 実質人員増加

* 貨物代理店大手退店時期

【日通航空】

[空港名]	[貨物設立]	[撤退時期]
松本空港	平成 6年 6月	平成10年 9月
佐賀空港	平成10年 7月	平成15年 7月
山形空港	昭和59年 6月	平成15年 9月
庄内空港	平成 3年10月	平成16年 7月
宮崎空港	平成 5年12月	平成16年11月
福島空港	平成 5年 3月	平成17年11月
函館空港	平成 3年 7月	平成18年11月
松山空港	平成 4年 9月	平成19年 1月
旭川空港		平成19年 8月
女満別空港	昭和55年11月	平成19年 8月
釧路空港	平成 8年11月	平成19年 9月
青森空港	昭和62年 7月	平成20年 3月
三沢空港	昭和60年 3月	平成20年 3月
秋田空港	昭和56年 6月	平成21年 3月
岡山空港	平成10年10月	平成21年 9月
新潟空港	平成 6年11月	平成21年 6月
八丈島空港	昭和57年 4月	平成21年 9月

計:17空港

【ヤマト運輸】

[空港名]	[貨物設立]	[撤退時期]
帯広空港	昭和55年11月	平成 9年10月
福岡空港	平成 7年 9月	平成14年 5月
宮崎空港	平成 5年12月	平成16年12月
新潟空港	平成 6年11月	平成20年 3月

計:4空港

H16.4 JAL・JAS
完全統合

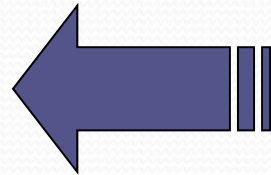
※日通は、次々と退店したものの おり、いずれの空港でも、退店後施設の利用はしている。また、アンケート実施時点では、退店していなかった空港でも、退店の話があがっている。

契約書記載の退店申し込みである為、退店に関してはやむを得ない

- * 退店後も使用される共用施設の費用負担方法
- * 貨物ヤードのあり方

【退店事業者にお支払いいただきたい内容】

- ① 共用施設使用料
- ② 土地使用料
- ③ 場内警備費
- ④ 場内清掃費



＜徴収方法(案)＞
貨物取扱量、及び車両通行台数
による案分にて算出

現在、退店者が負担していた維持管理費および、入居後増加している保安関係費用等は、概ねビル会社(運営者)が負担

【貨物ヤード】

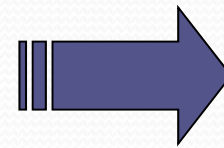
元来、運営者が国有地を借用し、A/L及び貨物代理店の要望を受け、上屋を建設。他への転用は厳しく、近年ハイジャック・テロ対策の強化により、警備費用の増加、施設の改善など運用に関し、多くの費用を要するが、テナントへの負担増は難しく、運営者であるビル会社の負担が増えている。

ビル会社(運営者)の負担が大きくなっており、今後の運営は厳しい

【参考】 要望事項

【ビル協会から国土交通省への要望】

- ①警備費用の助成について
- ②A/L・代理店への協力要請
- ③制限区域のありかた

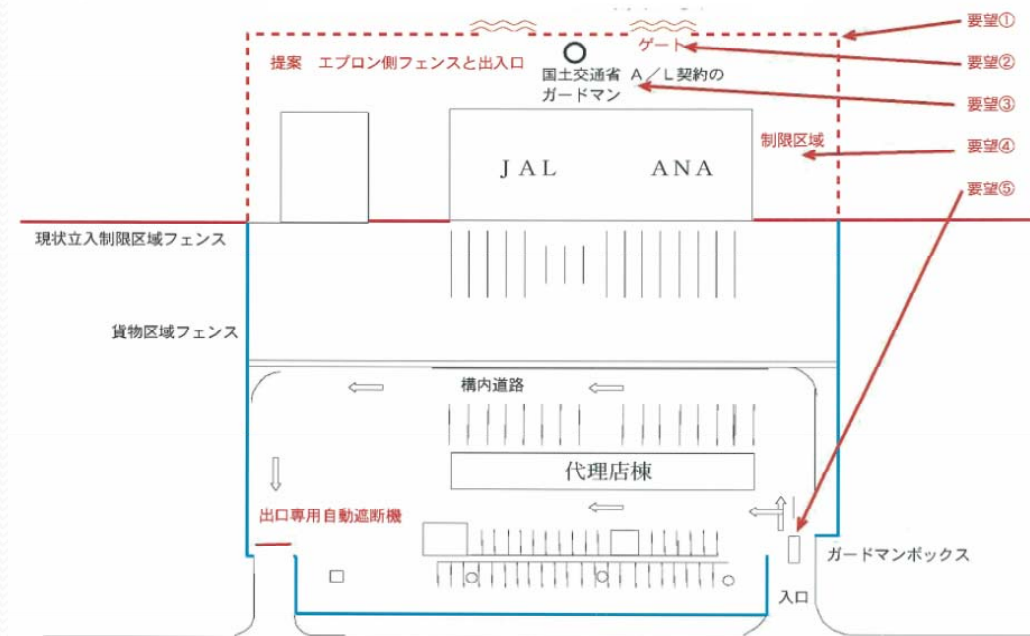


警備費用の半額を助成

宮崎空港(案)

【宮崎空港からの要望】

- ①境界フェンスの設置
- ②フェンス設置に伴う、ゲート整備
- ③ゲート要員配置
- ④制限区域・非制限区域の区分
- ⑤立哨警備



【参考資料】貨物取扱事業者の撤退状況調査(一部抜粋)
回答空港数 55社

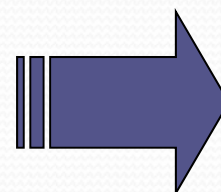
貨物ターミナルの運営について

運営会社数 42社

設立当時の入居事業者(貨物代理店のみ)

貨物代理店数
164社

日通	37社
ヤマト	16社
西武	10社
佐川	6社
国際	4社
その他	91社



貨物代理店については、
約37%が退店している。

最大手である日通に関しては、
37社から▲17社と約半数近く
が退店を行っており、引き続き
退店傾向はあるものと思われる。

その後退居した事業者(貨物代理店のみ)

貨物代理店数
61社

日通	17社
ヤマト	4社
西武	0社
佐川	3社
国際	2社
その他	35社